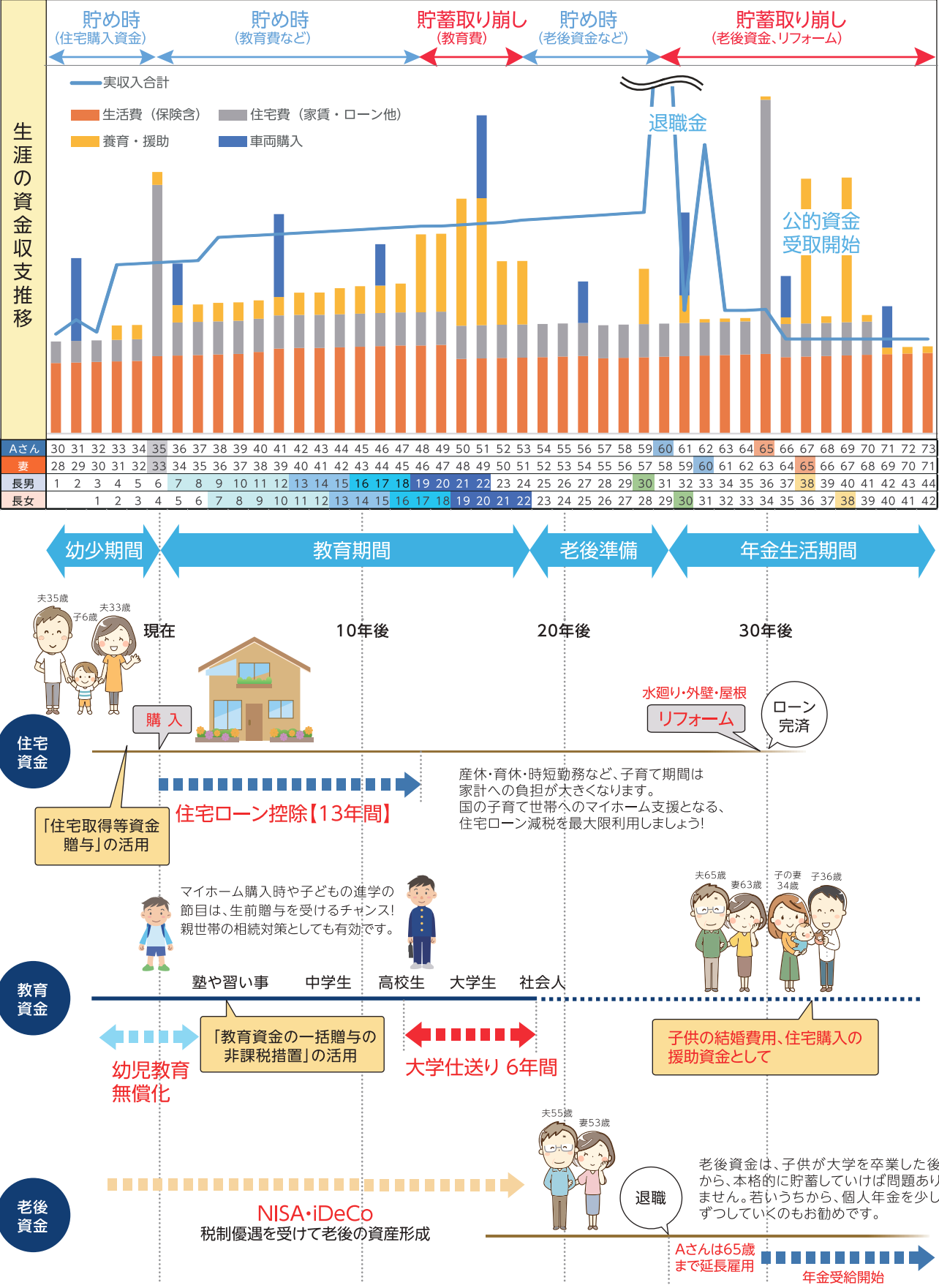


ライフプランと資金スケジュール

人生における様々なイベントの中で、最も大きなお金が必要といわれているのが「住宅・教育・老後」の三要素。
住まいづくりにおいても、三要素のバランスを考えた上で資金計画を立てたいものです。
10年後・20年後の家族の変化をイメージすることで、必要なお金や利用できる制度などが見えてきます。



子どものことを考えると、住まいづくりはいつがいいの？

できるだけ早くがベスト！ 子供と過ごせる期間は短い！

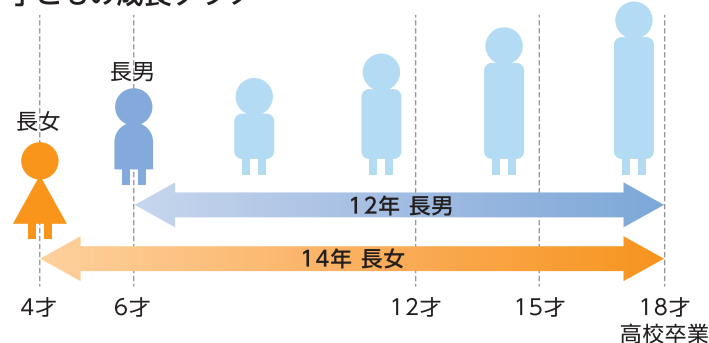
お子様と過ごせる期間は意外と短いです。お子様には希望の進路に進んで欲しいと思うものです。そう考えると、高校卒業までと一緒に暮らせる期間となる可能性も高いので、できるだけ早くマイホームを持つことがベストでしょう。

そう考えると、長男とはあと12年、
長女ともあと14年しかないわね。

資金面ではどうだろう？

学費はどのくらいかかるかな？

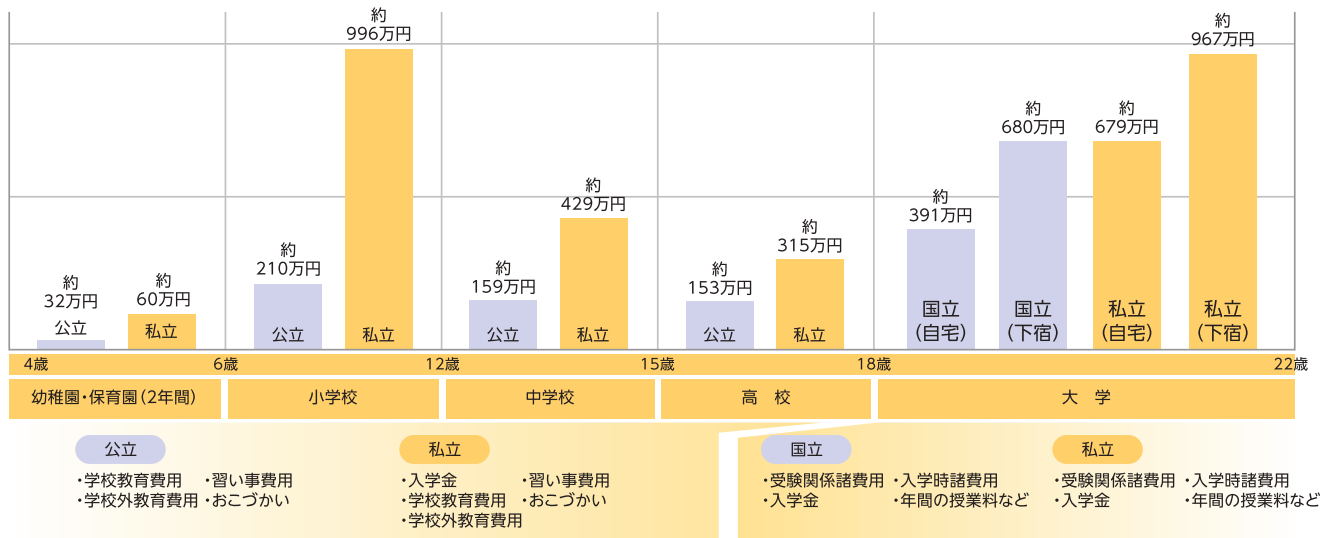
子どもの成長グラフ



基本的な学費を知ろう！ 学資保険も上手に活用！

もちろん、国公立大か私大かで学費は変わってきます。また、大学生活を一人暮らしさせてあげるか、自宅通いかでも費用は変わります。自宅が賃貸だと、自分の部屋が取れず、一人暮らしをしたいと思うお子様もいるかもしれませんが、マイホームならその点で選択肢は広がります。まずは、落ち着いて勉強できる環境を与えてあげることが、一番大切ですね。

ご存じですか？ 教育資金はこんなにかかります。



高校までの教育費は、文部科学省「子どもの学習費調査（2021年度）」より
大学の費用は、文部科学省「私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額調査結果（2021年度）」、
独立行政法人日本学生支援機構「学生生活調査結果（2020年度）」などより

■幼稚園、保育園、認定こども園等を利用する3歳から5歳までの全ての子供たちの利用料無償化

0歳から2歳までの子供たちについては住民税非課税世帯を対象として利用料が無償化
内閣府「幼児教育・保育の無償化」より

■私立高校授業料実質無償化

年収590万円未満の世帯は支援額の上限が396,000円まで上がります。
また、公立高校は平成26年から年収910万円未満の世帯に対して授業料を充てる制度があります。
「文部科学省HP」より

教育資金を考えた「学資保険」の話

大切なお子様のために学資保険を考えることも大切です。学資保険は、①学資金を貯める②お子様が万が一の時のため③ご主人が万が一の時のために、始めると良いと思います。

教育資金の一括贈与非課税措置

祖父母が30歳未満の子・孫への教育資金を贈与した場合、子・孫一人あたりにつき、1,500万円まで非課税となる制度があります。ただし、30歳までに使いきれなかった分については、その時点で贈与税がかかります。適用期限は2026年3月31日まで延長となっています。

資金計画を具体的にしてみましょう



年収から考えてみましょう。

本人 職業	年収	×	年収負担率	=	年間返済可能額
	万円				
合算者 職業	年収		%		万円
	万円				
年間返済可能額	÷	12ヶ月	=	毎月返済可能額	円
	万円				
毎月返済可能額	÷	100万円当たりの返済額	×100=	借入可能額	万円
	円				

※月々の返済額(金利早見表より)



今の家計から考えてみましょう。

家賃・駐車場料金	+	毎月の積立額	=	毎月返済可能額
		円		円
毎月返済可能額	÷	100万円当たりの返済額	×100=	借入可能額
		円		万円

※月々の返済額(金利早見表より)

例えば…



①	月々	円	=	万円				
②	月々	円	+	ボーナス	円	×2回	=	万円
③	万円	の住宅ローン減税の額は、13年間で約	万円					



自己資金を確認してみましょう。

預貯金	+	親からの援助	+	その他	=	自己資金
		万円		万円		万円

◎年収負担率とは？

…収入に占める各種ローンの返済額(住宅ローンの返済額と、それ以外の借入金の返済額の合計)の割合です。

ご収入	300万円未満	400万円未満	700万円未満	700万円以上
年収負担率	25%	30%	35%	40%



家づくりの総費用を確認しましょう。

土地購入費	①	万円	
建物建築費	②	万円	
	③	万円	
	④	万円	
	⑤	万円	
諸費用	⑥	万円	※登記費用・申請費用・ローン関係費用・火災保険 等
総費用	⑦	万円	※①～⑥の合計額を計算してください。
自己資金	⑧	万円	
住宅ローン	⑨	万円	※⑦-⑧を計算してください。



毎月の家計を整理してみましょう

※月額をご記入ください

収 入	金 額	支 出	金 額	支 出	金 額
本人	額面	生活費		保険料	
月給与	手取り	食費		生命保険	
ボーナス	年	住居費(家賃)		生命保険	
合算者	額面	水道光熱費		医療保険	
月給与	手取り	通信費		医療保険	
ボーナス	年	お小遣い		個人年金	
子供手当		教育費		個人年金	
その他収入				学資保険	
収入合計		娯楽費		その他	
現在の貯金	預金金額	被服費		奨学金	
預金		交際費		カーローンなど	
定期		日用雑貨		財形・積立	
その他		車両(給油)		支出合計	
ご援助					
貯金合計					



www.kobo-shinshu.com

※本冊子は、2024年4月1日現在の情報に基づく内容になっております



株式会社 フォレストコーポレーション

〒396-0027 長野県伊那市ますみヶ丘7352-1
TEL: 0265-73-8333 発行: 企画営業本部